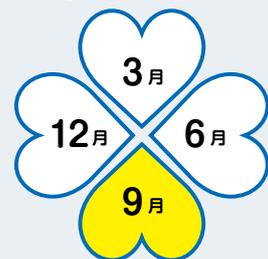


議会だより



躍動感あふれる
～八幡神社～

Contents

工事請負変更契約の締結

- 2 9月定例会
- 3 議案の採決結果
- 7 委員会報告
- 11 いっぺん来てつか 議会報告会 案内
- 12 10人が町の考えを問う 一般質問
- 20 議会からこんにちは

平成30年9月定例会

開催期間 9月3日～20日(18日間)

平成30年度一般会計補正予算案、町道路線の認定など11議案の審議を行い原案通り可決した。また、平成29年度一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算の審議を行い認定した。



危険ブロック塀をフェンスに変更(長炭小学校)

平成30年度9月補正予算

会計名	補正額	予算総額
一般会計	1億4723万3000円	115億9667万9000円
特別会計	1億4968万9000円	48億8088万9000円

平成30年度9月補正の主な内容(一般会計)

事業名	目的別名	補正予算額
小学校管理運営 (危険ブロックの撤去等)	教育費	1359万4000円
土木災害復旧事業 (現年度、道路橋梁災害)	災害復旧費	6460万円

議案の採決結果

賛否の分かれた議案に対して、各議員の議決の結果は下記の通りです。

議案名等	議席番号		議決結果	16	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	関連ページ
	賛成	反対		田岡 秀俊	鈴木 崇容	常包 恵	小山 直樹	京兼 愛子	竹林 昌秀	川西米希子	合田 正夫	三好 郁雄	白川 正樹	白川 皆男	大西 樹	松下 一美	三好 勝利	大西 豊	川原 茂行	
平成30年9月定例会 (会期：平成30年9月3日～9月20日)																				
議案第11号	12	2	可	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	P3

※可-可決 否-否決 ○賛成 ×-反対 欠-欠席
 ※議長は可否同数の場合にのみ表決権を有します。(議長 議席番号16番)

●平成30年

9月定例会

即決案件

議案第1号

※**専決処分の承認**

平成30年7月の梅雨前線豪雨による農林災害復旧費と土木災害復旧費の9237万円を承認した。

(専決処分による事業のため、議案第7号の一般会計補正予算には含まない。)



※専決処分：議会の議決・決定を経なければならぬ事柄について、やむを得ない場合に町長が規定に基づいて、議会の議決・決定の前に自ら処理すること。

議案第5・第6号

町官民連携事業に関する個別外部
 監査契約に基づく監査と契約の締結

【契約金額】

金268万円

【契約相手】

高松市 三和会計事務所
 税理士 米田 守宏

【契約期間】

自 平成30年9月3日
 至 平成31年3月31日

●**主な質疑と答弁**

【委員】 契約書の提示がない議案は納得できない。

【執行部】 参考に昨年のを提示する。

(その後、執行部より昨年の「個別外部監査契約書」の提示があった。)

議案第10号

工事請負変更契約の締結

平成29年度琴南子ども園耐震改修
 その他工事(建築)

【変更増の契約金額】

金170万7480円

【既契約金額】

金5076万円

【契約相手】

丸亀市 株式会社ヒカリ
 代表取締役 池田 孝道



安心、安全な琴南こども園

議案第11号

工事請負変更契約の締結

平成30年度仲南小学校校舎棟等
 大規模改修工事(建築)

【変更増の契約金額】

金258万1200円

【既契約金額】

金8694万円

【契約相手】

多度津町 枝園建設株式会社
 代表取締役 枝園 裕子



○**討論**

【反対】 合田正夫議員

今回の追加工事は、事前の調査が不十分であったためと考える。設計士に責任があるのではないか。納得できるだけの説明がない。

【賛成】 大西豊議員

全員協議会を開催し、詳しい説明があり、納得したので賛成する。

付託案件

総務常任委員会付託

教育民生常任委員長、建設経済常任委員長より、各委員会に付託された関係部分の質疑、結果等について報告を受けた。その後、執行部に必要書類の提出と詳細な説明を求め慎重に審査を行った。

認定第1号

平成29年度一般会計歳入歳出決算認定

●主な質疑と答弁

【委員】経常収支比率が年々上昇しているが、財政的な弾力性が失われているのではないか。健全な財政運営と財政基盤確立のため、下げる努力をお願いしたい。

【執行部】財政的に厳しい状況であることは承知している。各課と連携をとりながら対応していきたい。

※人件費や扶助費など決まった支出が占める割合。

【委員】地方創生推進事業費「愛が満々カップル創生事業」の実績等について詳しい説明を求める。

【執行部】この事業は、グリーンパークまんのうに委託し、まんのう公園で実施している。参加者は20名程度で、現在1組が成婚した。

【委員】選挙管理委員会費の選挙啓発事業費を増額してはどうか。投票率が下がっているため、期日前投票の期間中、支所等から期日前投票所までデマンドタクシーを運行してはどうか。

【執行部】なぜ投票に行かないのか、移動が困難な人、選挙に関心が無い人等、現状や要望を十分把握し検討していきたい。投票の機会を奪わないよう啓発についても工夫していく。



（まんのう町中学生による啓発ポスター）

そうだ選挙に行こう

その他

各課より事業について詳しい説明があり

- ・町長交際費の使途基準と推移。
- ・デマンドタクシー、福祉タクシーの充実。
- ・琴参バスの有効活用。
- ・警報等の発令時の水防本部体制。
- ・観光客の入り込み客数、日本を訪れる外国旅行者。

- ・平成29年度決算に伴う、不能欠損、収入未済等についてなど。
- ・それぞれの項目において、活発な質疑や意見、要望等を行なった。



多くの旅行者をまんのう町へ（高松空港）

議案第7号

平成30年度一般会計補正予算(案) (第3号)

●各所管課より主な説明

地方交付税の増額

- ・平成30年度普通交付税額の決定によるもの。

分担金、負担金の増額

- ・農地農業用施設災害復旧費分担金の増額によるもの。

国庫支出金の減額

- ・総務費国庫補助金において、カーボンマネージメント（温室効果ガスの抑制や削減に向けた取り組み）事業が本年度採択されなかったことによるもの。

民生費国庫補助金の増額

- ・保育所等整備交付金の増額によるもの。

農林水産業費県補助金の増額

- ・力強い水田農業整備事業補助金の増額によるもの。

教育費県補助金の増額

- ・スクールサポートスタッフ配置事業費によるもの。

- ・理科教育設備整備費補助金によるもの。



災害により変わり果てた道路 復旧が急がれる

- 町債の増額**
- ・土木債における道路改良事業債の増額によるもの。
 - ・災害復旧事業債において現年度、林道及び道路橋りよう災害復旧事業債の増額によるもの。
- 教育費の増額**
- ・小学校費、学校管理費において、

- ・修繕料や賃金などの増額によるもの。
 - ・教育振興費において、補助事業である教材備品費を追加計上するもの。
- 災害復旧費の増額**
- ・農林災害復旧費、農地農業用施設災害復旧費において、工事請負費などの増額によるもの。



教育民生常任委員会付託

執行部に必要な書類の提出と詳細な説明を求め慎重に審査を行った。

認定第2号

平成29年度町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

●所管課より主な説明

- ・保険費給付費、国民健康保険事業の状況、診療所の運営状況等について。



認定第3号

平成29年度町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

●所管課より主な説明

- ・後期高齢者医療の概要、後期高齢者医療、広域連合納付金等について。



認定第4号

平成29年度町介護保険特別会計歳入歳出決算認定

●所管課より主な説明

- ・介護サービス給付費、地域支援事業包括的支援各種事業、平成30年3月末現在の介護度別認定者数、介護サービス利用者数等について。



認定第7号

平成29年度町浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算認定

●所管課より主な説明

- ・浄化槽維持管理基数等について。



議案第2号

琴南高齢者生活福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

各所管課より主な説明

施設の活用を推進し、高齢者福祉の増進を図るため、2人部屋の対象者を高齢夫婦だけでなく65歳以上の高齢者を含む2人世帯の者を対象とする。



やすらぎ荘に近い
琴南高齢者生活福祉センター

可原
決案

議案第3号

後期高齢者医療に関する条例の一部改正

各所管課より主な説明

国民健康保険の被保険者で病院や

建設経済常任委員会付託

執行部に必要な書類の提出と詳細な説明を求め慎重に審査を行った。

認定第5号

平成29年度町下水道特別会計歳入歳出決算認定

可原
認定

認定第6号

平成29年度町農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定

可原
認定

認定第8号

平成29年度町水道事業会計決算認定

所管課より主な説明

決算損益計算書、決算貸借対照表、水道事業会計、収益収支明細書等をもとに説明があった。

可原
認定

議案第4号

町道路線認定

所管課より主な説明

町道中空線起点造田字中空1113番地先、終点造田字中空1127番8地先。

町道大空線起点造田字城山855番127地先。終点造田字茶臼池谷1140番43地先。

両路線は、主要地方道県道17号府中造田線の区域変更に伴い、町に移管されるものである。

【委員】今後も県より、同じような話があると思うが、接続する道路との見通しや、停止位置等、安全性を確保して譲り受けるようお願いしたい。

可原
決案

町道大空線



町道中空線

建設経済常任委員会

●地籍調査 ●農業振興 ●耕作放棄地 ●地方創生 ●災害被害

現場視察

◆8月21日、公共災害復旧事業
町道三田林線 7月梅雨前線
豪雨災害、橋りょう長寿命化修繕
事業 山脇橋（町道黒川財田線）、
小規模ため池防災特別事業
経ヶ谷池、公共災害復旧事業 町
道川原線の現地視察を行った。



公共災害復旧事業 町道三田林線

地籍調査 正確な土地情報を保存

【委員】 調査地区の面積は調査前
と後ではどのぐらい差が出てい
るのか。

【地籍調査課長】 調査前の面積
が1・62平方キロメートル、
調査後が1・58平方キロメー
トルである。

農業振興

農家の収入と 意欲増が重要

【委員】 6月定例会の一般質問に
おいて、担い手農業者の意見を
聞く会を開くと答えたが、まだ
開けていない。

【農林課長】 早々に準備し12月ま
でに開催できるように努める。

耕作放棄地

農地と地域のために

【委員】 個人所有の農地で除草
作業をせずに放置しているため、
隣接者が迷惑しているケースが
ある。町として対策はないか。

【農林課長】 農業委員を通じて所
有者に働きかけている。それで
も動かない場合は、通知を出す。
それでも動かない場合には勧告
もありうる。今後、町及び農業
委員会の中でも検討したい。

地方創生

ひまわり畑はいっ

【委員】 昨年のひまわりの種収穫
量と搾油量の報告を求める。

【農林課長】 昨年は、約18トンの
種子の収穫があり、全てを絞つ
た場合5・4トンの油がとれる
予定である。現時点では、まだ
絞り終えておらず約半分残って
いる。

【委員】 町が特産品として推
進する考えがあるなら、生
産者の意欲が下がらないよ
う更なる努力をすべきでは
ないか。

【農林課長】 現在、ひまわり
振興協議会の栽培者部会の中
で、本年のハトによる被害を
考慮した補助金対応の他、生
産体制についても協議をしてい
る。

災害被害

救済の拡大・拡充を

【委員】 自然災害により、個
人の裏山が土砂崩れを起こし
家の敷地に土砂がなだれ
込むなどして困っている

ケースがある。崩落の拡大の危
険もある。

7月の梅雨前線豪雨災害では
琴南地区においては4ヶ所ほど
あった。急傾斜地崩落防止対策
事業においては、現在の規定で
県や町の事業の対象にならない
のだが救済はできないか。

【副町長】 そのような排土等につ
いては、町で規定が整備できて
いない。年度未までに町として、
どこまでできるか調査する。



生活を脅かす崩落

教育民生常任委員会

●太陽光設備 ●中学生海外派遣 ●教員の働き方改革 ●危険ブロック塀 ●ウォークラリー ●成人式

現場調査

◆8月22日、仲南小学校大規模改修工事の現地調査を行った。



生まれ変わる（仲南小学校）

太陽光設備

補助の交付金は大丈夫か

【委員】 太陽光設備補助金の件数が対前年比24.6%だが予算的に対応可能か。

【住民生活課長】 不足が生じるので9月補正で対応したい。

中学生海外派遣

予定通り実施

【委員】 台風が接近する見込みだが、中学生海外派遣（シンガポール）は実施するのか。

【生涯学習課長】 現時点では、予定通り実施したい。



国際感覚ある人材の育成（シンガポール）

教員の働き方改革

夏休みに3日間の休校日

【委員】 教職員の長時間労働対策で具体化されたものは。

【教育長】 各学校に留守電を整備して夏休みに3日間、部活動も全て休みとする休校日を設けた。

また、教員をサポートする臨時職員を配置し、健康管理に注意している。

危険ブロック塀

撤去しフェンスで対応

【委員】 学校、公民館などで危険なブロック塀の改修が予定されているが、フェンスではなく町産木材を使用することはできないか。

【生涯学習課長】 木材は、防腐剤処理など維持管理上、難しい。現在は、フェンスを予定している。

ウォークラリー

中止すべきでなかったか

【委員】 高篠地区ウォークラリーは、大雨で子どもたちもびしょ濡れになった。中止すべきでなかったか。

【生涯学習課長】 小降りであったので実施した。途中で大雨となり、参加者、関係者のみなさんには大変ご迷惑をかけた。今後、天気予報等で更に慎重に判断したい。

成人式

新成人を中心に内容検討

【委員】 今年度の成人式は、青年会の事情で、教育委員会主体で実施することのことだが、内容に変更があるのか。

【生涯学習課長】 今年度も新成人による実行委員会を立ち上げた。その中で、内容を計画してもらう予定である。



大人の誕生 平成30年1月成人式

総務常任委員会

●防災 ●福祉タクシー券の交付 ●地方創生 ●選挙管理委員会 ●ひまわりオイル

防災 的確な対応を

【委員】避難勧告や避難指示が発令された時、自分で避難が困難な方はどうすればいいか。

【総務課長】避難行動に時間を要する方は、早い段階での避難をしていただき、福祉施設や警察等と連携をとりながら体制を整える。

【委員】災害時の消防団員の安全確保対策として、退避ルールや指示命令はどうなっているのか。

【総務課長】消防団の活動については、まんのう町地域防災計画に基づき団長と相談の上、指示を出している。

福祉タクシー券の交付 不公平感のない施策に

【委員】福祉タクシー券の交付枚数及び助成額は、地域に関係なく一律同額である。医療機関へ通院する際、病院までの距離がある方は、タクシー券の利用枚数が多いため、交付枚数や助成額等の配慮はできないか。

【企画観光課長】現在、一律で年間一定枚数のタクシー助成券を交

付している。利用者に極力、不公平感を持たれないようなサービスを考えていく。

地方創生 素敵な出会いのために

【委員】地方創生推進事業費の愛が満々カップル創生事業の実績は。

【企画観光課長】この事業は、グリーンパークまんのうに委託し、まんのう公園で実施している。参加者は、毎回20名程度で現在、1組が成婚した。

選挙管理委員会 未来のために

【委員】現在、投票率が下がっているが、選挙啓発事業費を増額してはどうか。投票率を上げるためには、さらに啓発に力を入れていくべきだと思うが。

【総務課長】移動が困難な人、選挙に関心がない人等、そういった事を十分把握し検討する。投票の機会を奪わないよう啓発を工夫する。

ひまわりオイル 販売戦略の仕掛けを

【委員】ひまわりオイルの販売実績は、月100本程度である。イベント販売時は売り上げが顕著であるが、それ以外は、当初の見込を大幅に下回っている。今後、購

買意欲を後押しする販売方法などの考えはあるのか。

【企画観光課長】今後、販売戦略上は重点的にネット販売を中心に売り出す方向でいる。検索した時、すぐに「まんのうひまわりオイル」のサイトが出る仕掛け等、工夫し対策をしていく。



努力の結晶 -販売の仕掛けを-

新人の新しい風を



平成30年度 全国町村議長会主催の町村議会広報クリニック（東海・近畿・四国・九州地区）が、東京の全国町村議員会館で45町村議会が参加し開催された。本町からも4月の改選で新しく広報委員に選ばれた3人を含む6人で参加。

講師は「月刊総務」編集長 豊田健一氏で「読者目線で親切な広報誌を作るには」手に取られ、読まれ、行動に結びつけるには」のテーマで研修を受けた。

- ・昨日まんのう町に越して来た人が読んでも、わかりやすく、常に読者目線に心がけること。
- ・文章は日常生活で一般に使われている言葉を、また役所言葉や専門用語はわかりやすい言葉にかえる。

などの研修を受けた。今後も研修で学んだ事を生かし、手にとって読んでもらえる「議会だより」を目指していく。



田舎の強みを生かす町づくり



ITを活用し地方創生

10月2日、まんのう町連合自治会より、正副議長、新人議員に声がかかり、中山間地域における地方創生事業研修に参加した。徳島県のほぼ中央に位置する神山町は、人口5千人余り、面積173km²。近くに12番札所焼山寺があり、緑あふれるまちです。ここに、優れたIT環境を活用して首都圏など都会から、現在16社のサテライトオフィスが進出し、若者を中心に移住者が増えていることで、神山町を一躍全国的に有名なまちにした。

ITは都会と田舎を直結

今回、都会の企業との橋渡し役となっているNPO法人グリーンバレーの案内で、5年前に古民家を買取・改修して進出した東京の映像企業、起業した個人・事業所が共同して入居している（間仕切りがあるくらい）建物を見学、そして働いている人の声を聞いた。

東京で仕事をしているのと変わらないIT環境と爽やかな自然環境の中での作業は仕事が進むし、何よりも「満員電車の通勤地獄」がないのが最高とのこと。

まんのう町をどう売り込む

まんのう町も神山町と同じくらしいのIT環境が整備されている。不便だけど自然環境豊かな町、マイナスをプラスに変える発想と人材の育成が課題だと感じた。日本全国IT環境が整備されてきている。その中で、まんのう町を売り込む仕掛けが必要だ。

第13回議会報告会 (意見交換会)

町の将来や課題について、また議会へのご意見などお聞かせください。

どの会場でも自由にご参加ください。

町内4会場で開催します。2班体制で行きます。

班	議員名	11月15日(木)	11月16日(金)
		19時~21時	19時~21時
A	◎大西 樹	仲南公民館 (2F第3研修室)	満濃農改センター (農事研修室)
	川原 茂行		
	白川 皆男		
	合田 正夫		
	竹林 昌秀		
	京兼 愛子		
	鈴木 崇容		
	田岡 秀俊		
B	◎大西 豊	長炭公民館 (第1・2会議室)	琴南農改センター (小会議室)
	三好 勝利		
	松下 一美		
	白川 正樹		
	三好 郁雄		
	小山 直樹		
	常包 恵		
	川西米希子		

※当日、議会だより29号をご持参してください。

いっしょに来てつか

もっと身近な
議会に！



昨年の意見交換会

議員名	質問内容	関連ページ
たけばやし まさひで 竹林 昌秀	<ul style="list-style-type: none"> ・本町の現行の教育基本計画は何を目指しているのか ・地域包括ケアとは何か。その理念と手法を介護保険制度に照らしてご説明願う ・本年度の災害対応の経過を問い、直面している課題は何か、これへの答弁を求める。 	P13
すすき たかひろ 鈴木 崇容	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校・中学校児童の安全対策について ・小学校・中学校の施設運営について ・高齢者福祉と介護支援の将来見込みについて 	P13
かわにし まきこ 川西米希子	<ul style="list-style-type: none"> ・かがわ健康ポイント事業・まんのう版 健康ポイント事業 ・地域防災力の充実強化 	P14
まつした かすみ 松下 一美	<ul style="list-style-type: none"> ・満濃中学校のグラウンドのバックネットの裏へ屋根の設置が出来ないか。 ・防災対策等について 	P14
きょうかね あいこ 京兼 愛子	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の移住、定住の促進について 	P15
しらかわ まさき 白川 正樹	<ul style="list-style-type: none"> ・全てのこども園、学校施設にエアコンを ・仲南産直市のトイレについて 	P15
みよし かつとし 三好 勝利	<ul style="list-style-type: none"> ・地域限定の運転免許証について ・デマンドタクシーについて（改善） 	P16
つねかね めぐみ 常包 恵	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅団地造成区域内道路の維持管理について ・高齢者の運転免許証返納について ・河川整備について（防災及びイノシシ被害抑止） 	P16
こやま なおき 小山 直樹	<ul style="list-style-type: none"> ・町長の政治姿勢について ・これからの町づくりについて町長の考え ・地場産業（農林・商工業etc）の育成について 	P17
かわはら しげゆき 川原 茂行	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興について ・自主防災組織のあり方 	P17

議員



町長・教育長

議員が町の考えを問う

9月定例会では、10人の議員が一般質問を行いました。議員情報等は、まんのう町ホームページ（議会情報）に掲載していますので、ご覧ください。

琴南地区島ヶ峰のそば畑

安全教育が
学力向上



鈴木 崇容 議員

小・中学児童の安全対策

問 児童の熱中症予防対策の現状は

答 教職員全員で熱中症予防に注意していく

鈴木 小・中学生の体育の授業や部活動の実施に当り、外気温が何度になれば中止や休憩をとるか。また、給水タイムなどのマニュアルなり指導要領があるかどうか。

教育長 気温が何度以上になれば、中止するといったマニュアルがある学校はない。しかしながら、県教委、文科省、厚労省、気象庁が発表する「高温注意情報」を参考にしたり、熱中症事故防止に関する通知に基づき、予防をしている。

問 小・中学校の冷房施設運営について問う

答 教室の望ましい温度基準に従って対応

鈴木 適正と思われる運用が、必ずしも適正であるとは言えない。見直す所は見直し児童の安全に徹してほしい。

教育長 児童、生徒が快適な環境で、学習できるエアコン等運用を実施。



快適な 授業

高齢者の未来

問 高齢者福祉と介護支援の将来は

答 各種の要件を満たせば利用は可能

鈴木 在宅介護を希望した時、支援を行う人員の充足は。

町長 在宅介護サービスで、町内でほとんどのサービスは利用できるが、認知症対応型通所介護など一部利用が困難なサービスもある。訪問介護では町内には、介護訪問事業所が4ヶ所あり、ホームヘルパーは常時雇用11人、登録者が31人いる。

教育基本計画

問 教育振興基本計画の骨格と実績

答 全国に先駆ける35人学級編成

竹林 教育振興基本計画の骨格と実績を問う。

指導と特別支援教育の体制

教育長 ④ゼロ歳児から15歳までの一貫する教育実践であり、⑩町民総ぐるみの子育てと⑨ふるさとを大切にす人づくりが骨格である。実績は、1) 県下で最初に認定こども園を整備し、2) 全国に先駆ける35人学級の編成を実現し、3) 小学校1年生からの英語活動を実施し、4) 教育研究所・教育指導室の整備と陣容を充実し、5) 教師塾を開いて教員の指導力の向上を図り、6) 「多夢」「育夢」「来夢」を設置して教育支援体制を整えた。

資質向上と成果の評価、自立する地域

竹林 積み残しは何か。

教育長 教職員の姿勢、使命感、資質や能力の向上を図りたい。地域社会へより委ねる公民館運営を目指す。成果の的確な評価と自立した地域活動が残されている。

竹林 新たに手がけることはあるか。目指す児童生徒の姿と地域像を問う。

人づくりを発展の原動力に

教育長 「自立に向かって 協働 創造する教育立町」を基本とする。「教育立町」とは皆で子どもを育て、人づくりを発展の原動力とする町である。

避難指示

問 独自観測とカメラ配置を

答 防災センターの機能研究

竹林 国と県の観測データや映像入手を求めるだけでなく、独自に水位や気象観測し、リアルタイム映像を得る撮影拠点を配置できぬか。

町長 それらを実現できる防災センターの機能を研究したい。

包括支援は。



竹林 昌秀 議員

グラウンドの
周辺整備を。



松下 一美 議員

満濃中学校グラウンド

問 周辺の設備を問う

答 学校関係者とよく相談する

松下 現在満濃中学校のグラウンドのバックネット裏で、保護者及び関係者が野球等の練習とか試合を観戦しているが、屋根の設置はできないか。バックネット近くにいるんな用具が棚につままれていて不用心である。女子のソフトボールにおいても、西の隅に小さな収納庫があればと思うが。

教育長 観戦をする保護者や関係者は折り畳み式のテントやタープなどを利用していたきたい。収納庫については、学校関係者とよく相談をして、検討する。



屋根の設置を

防災対策

問 危機管理課の設置を

答 危機管理の観点から検討

松下 今回の西日本豪雨では、広島県、岡山県等において、家の中で多くの方が亡くなられたが、今後どのように避難の周知徹底をしていくのか。

町長 今回の7月豪雨の際、避難者はごく少数だった。防災意識の向上、安全確保の指導を行って行きたい。

松下 防災に特化した基金を設けてはどうか、運用益を防災、減災対策に重点を置いて運用してはどうか。

町長 自主防災活動に40万円を限度に助成、また、研修活動等に補助している。基金の創設は各種補助金を調査し、必要性や効果を検討していく。

松下 近年、全国で大災害が多発しており、高松市等においても危機管理課を設置しているが、本町は今後どうするのか。

町長 危機管理の観点から専門的部署の配置について検討する。

介護予防

問 住民の励みとなる事業の導入を

答 情報収集を行っていく

川西 住民の健康寿命・活動寿命を延ばすため、さらに未来を担う子どもたちに健康への意識づけをおこなうために導入を。①介護予防支援ボランティアポイント制度②お元気ポイント事業（仮称）

町長 既に実施している自治体もある。情報収集を行っていく。



誰かのために、自分のために、いきいきとボランティア

防災

問 日頃の備えにより被害の軽減を

答 防災対策の充実、強化を図っていく

川西 地震や豪雨などの自然災害は人の力ではくい止められないが、日頃の備えにより被害を減らすことはできる。さらなる対策強化を。①公設消防団の安全を第一とする環境整備と装備の充実。②感震ブレーカーの普及・啓発③避難所への電光看板つき地震解除キーボックスの設置。

町長 ①琴南地区には、屯所を有さない分団がある。用地の調整を行い活動を支援できる施設の整備を行っていききたい。

耐震化の未完了の屯所については、琴南地区は順次、仲南地区は統合の検討をしながら進めたい。②通電火災を防止することは、重要な要素であると考えている。有用性について検討を行う。③日頃の施設管理での保安・警備の観点も考慮しながら導入に向けた検討を行う。

最悪を
想定した
対策が必要。



川西米希子 議員



白川 正樹 議員

学校施設

問 こども園と学校の
全室にエアコンを

答 来年度でこども園、小中学校での
設置率を 100%にしたい

白川 今年の夏は異常な暑さだった。良い環境で学校生活を送るためにエアコンが必要ではないか。町内のすべてのこども園、小学校、満濃中学校の全室のエアコン設置率は。

教育長 まんのう町の全てのこども園と満濃中学校では、全室にエアコンを設置している。長炭小学校の家庭科室、理科室、図工室、満濃南小学校の理科室、図工室、仲南小学校の理科室の6部屋が未設置だが来年度には設置したい。

仲南産直市

問 利用者を増やし、
収益増のため衛生的なトイレを

答 衛生面での徹底を図るため適正な
管理に努める

白川 衛生的できれいなトイレにすれば買い物客の増加が見込まれるが。

町長 国交省が道の駅の駐車場を整備する時に協定で更新・保守・点検・修繕等については国が負担し、清掃は町が行うとしている。トイレを清潔にすることで、道の駅へのリピーターが増加すると期待する。建築から16年が経過し老朽化しているため、換気や洋式化、明るさの改善等を今後とも要望していきたい。



衛生的なトイレで買い物客の増加を

子ども医療費

問 若者の移住・定住の
促進について
(高等学校卒業までの医療費助成について)

答 高等学校卒業までの医療費
無料化について検討する

京兼 若者の移住・定住の促進の観点から本町には、高等学校がないという不利な条件がある。

それを打開するため、子ども医療費助成制度の対象者を、現行の中学校卒業までを高等学校卒業までに拡大することを求める。

町長・教育長 現在、まんのう町では、子ども医療費支給に関する条例により、中学校卒業までを対象者として医療費の助成を行なっている。

また、高等学校の医療費無料化は、全国的には平成30年4月から大阪府摂津市が、また平成29年4月からは大阪府箕面市が実施しており、実施自治体数はわからないが、たくさんの自治体で実施している。香川県内は直島町のみ18歳まで実施している。

まんのう町として、高等学校までの医療費無料化は、

- 1 事業の性質からして長期間継続できるものであること。
- 2 町財政が将来耐えうるものであること。
- 3 他の施策と比べ、均衡が図れていること。
- 4 町政の発展及び住民の方の賛同が得られること。

などの検討を今後、慎重に行なって行きたいと考える。



子育て真っ最中



京兼 愛子 議員



三好 勝利 議員

運転免許

問 地域限定の運転免許証を

答 警察庁の有識者会議の動向を注視

三好 高齢者が事故の被害者だけでなく、加害者になるケースも増えている。非常に難しい問題だと思うが、地域限定の条件付き運転免許証の導入はできないか。

町長 地域限定の免許証については、警察庁の有識者会議の加齢に伴う身体能力の低下の課題の中で、高齢運転者に対して交通事故防止のための制限として議論がされている。しかしながら、限定条件つき免許については、現状認められている高齢運転者の権利を制限するものであるため、交通事故防止の効果を明らかにした上で、社会的受容性を踏まえて慎重に検討すべきと提言されている。検証の動向を見ながら、調査研究していきたい。



町内限定の免許証を

選挙

問 投票率を上げるため今後どうしていくのか

答 選挙管理委員会で議論していく

三好 本年8月、香川県知事選挙があったが、まんのう町においても投票率はだんだん下がる一方である。デマンドタクシーの利用なども考えていくべきではないか。

町長 投票率を上げるためにどのような取り組みができるかも含めて選挙管理委員会の中で議論していきたい。

安心・安全なまちづくり

問 開発区域内道路は、町の管理に

答 町が維持管理を行うことを検討する

常包 1,000 m以上の開発許可は、年間何件位あるのか。都市計画法では、道路は原則、町への帰属、町が維持管理となっている。丸亀市、綾川町、多度津町などで市町が維持管理している。私道の状態であれば、数十年経って舗装等が傷んできた時に困る場合が想定される。まんのう町を選んで移住(定住)してくれた人が、将来少しでも困らないように人口減少抑制対策の視点で判断いただきたい。

町長 開発件数は年間4件程度ある。現在は通り抜けできることを条件としているが、先進市町の状況を把握し、町に帰属(寄附)いただける土地は町が維持管理を行うことを検討していく。

問 免許返納支援事業対象者の拡大を

答 制度の充実を考えていく

常包 運転免許証を自主返納した人に加えて、期限切れ後再取得意思のない人、病気や障がい取消された人等も支援対象とすべきである。

町長 香川県は昨年11月から拡大している。高齢者の事故防止、移動手段の確保等総合的な生活支援策として充実を考えていく。1年間の支援期間についても検討していく。

問 河川整備で洪水・イノシシ対策を

答 継続して要望していく

常包 金倉川決壊の一因に河川内の堆積土砂が考えられる。多くの所で雑木・竹が繁茂し、イノシシの棲家となっている。土器川炭所大橋から長炭橋付近は川幅が狭く、竹、雑木繁茂で一層狭くなっている。ゲリラ豪雨が増え、急激に増水することも度々あり、早急な整備を求める。

町長 金倉川被災箇所前後は緊急に土砂を撤去する。土器川も、人家への安全確保、不法投棄防止等からも継続して要望していく。



河川内の土砂撤去を

安心・安全なまちづくりを。



常包 恵 議員



川原 茂行 議員

農業振興

問 より有効な農業施策のため

答 本年10月中には開催する

川原 6月定例会の農業振興に関する私の一般質問の中で「正式に協議会を設立し、担い手農業者等の農業に従事している方々の意見を聴取する会を開く」とのお答えがあったが、まだ開かれていない。お考えをお尋ねしたい。

町長 遅くても、本年10月中には1回目の会を開きたい。土地利用型農業を展開する一定以上の耕作面積を持つ農家の代表者の方だけの会をまず開催したいと考えている。

防災

問 自治会での避難訓練に後押しを

答 十分検討したい

川原 町内で自主防災組織を結成している自治会が少ないが、町としてどのような広報を行っているのか。また、自治会で避難訓練を実施すれば補助金を出すなどの積極的支援も必要ではないか。

町長 自主防災組織結成に向けて町の防災アドバイザーによる啓発を行っている。ハザードマップの作成、防災士の育成も行っている。自治会で、防災訓練等を行っていくことは、非常に重要であると思うので、今後十分検討したい。



自治会で避難訓練を

町長の政治姿勢

問 国いいなりの町政になっていないか

答 言うべきことは言っている

小山 現在の地方自治の実態は、国の言いなりで、町民のいのちとくらしを守る「最後の砦」としての役目を果たしていない。

町長 全国町村長会をはじめ、ことあるごとに地方の意見は申し述べている。今後もそうしていく。

これからの町づくり

問 生活向上に直結する施策を

答 まんのう町総合戦略ですすめている

小山 町の発展の決定的要素は、「地域内再投資力」の量的質的形成だ。町内の消費購買力の拡大こそ生活向上に直結する施策だ。

町長 「まんのう町総合計画」や「まんのう町まち・ひと・しごと創生総合戦略」で着実に前進してきた。

地場産業の育成

問 住宅リフォーム助成制度の創設を

答 今ある助成制度を活用して

小山 他の自治体が実施しているリフォーム助成で地場産業が活性化すると考える。

町長 まんのう町には現在、バリアフリー化、耐震化、省エネ化、環境対策などの助成制度があるので、それを活用していただきたい。

町長の政治姿勢は。



小山 直樹 議員

議会を見に来ませんか？

本町議会では、定例会が3月、6月、9月、12月の年4回（臨時会は随時）開催され、本会議は通常午前9時30分に開会します。

会議の当日、手続きをすれば、どなたでも傍聴できます。

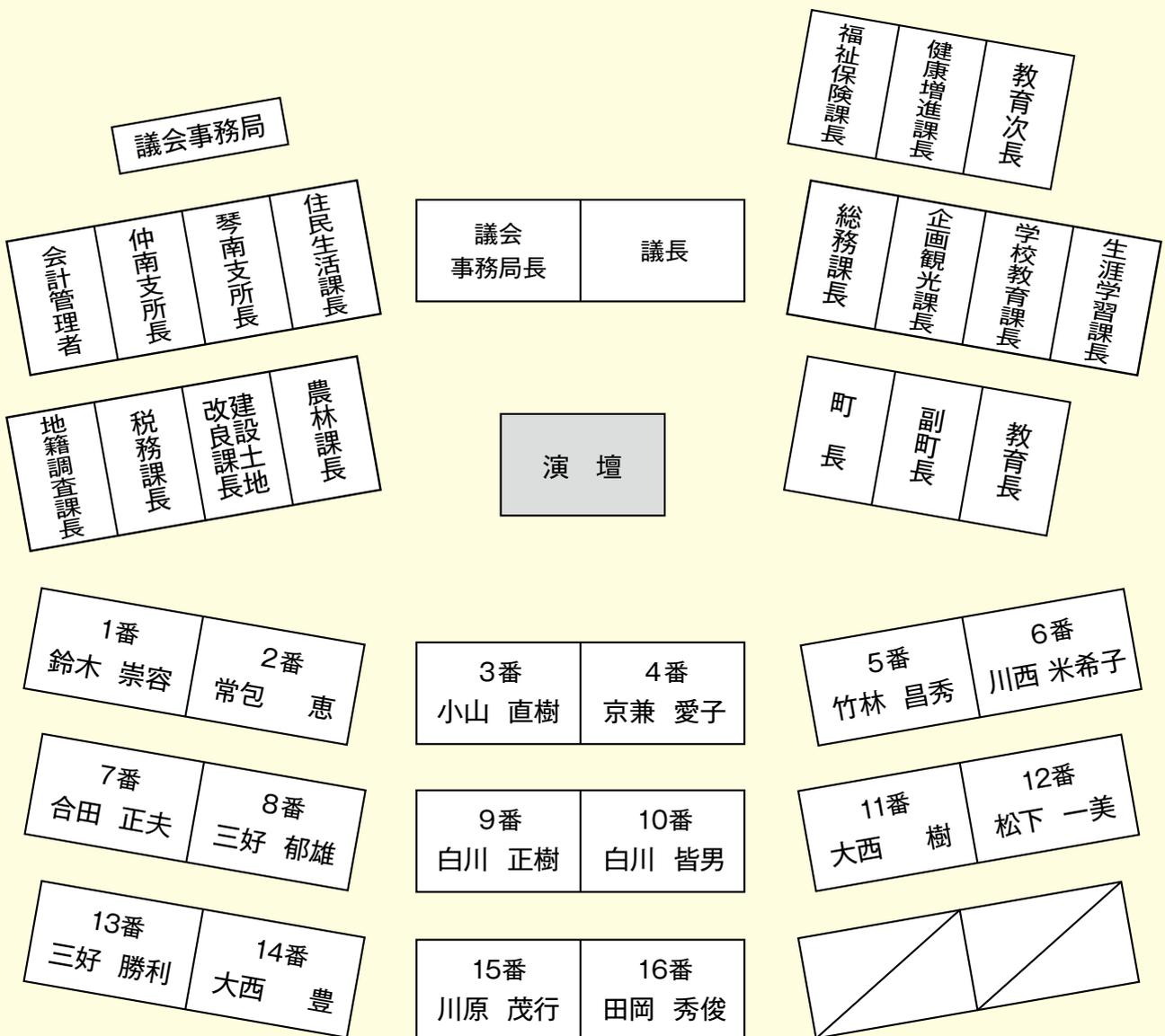
詳しくは議会事務局へ ☎0877-73-0109

ご案内 次回の定例会は**12月上旬**に開会予定です。



議会の傍聴席（後方）

議会席配置図



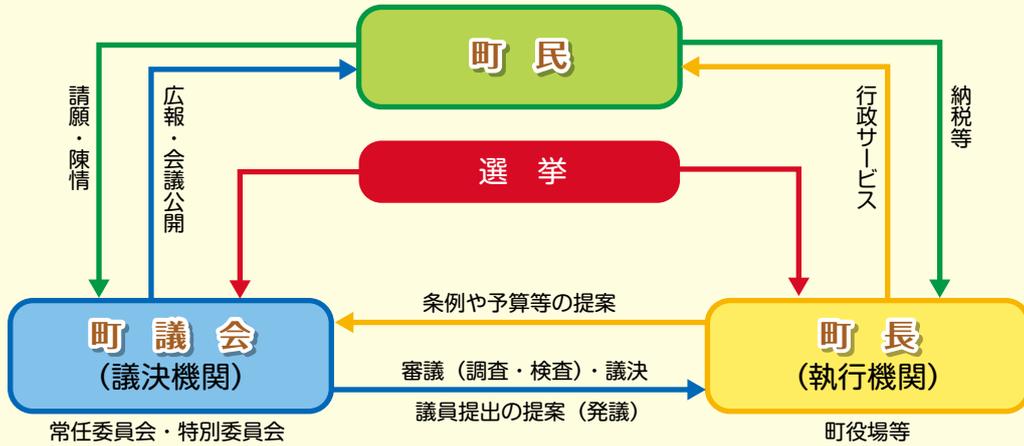
傍聴席

町議会とは

町会議は、町民から直接選挙で選ばれた議員で構成され、町長から提出された議案や町民から提出された
 請願・陳情を審議し、議会として町の最終的な意思を決定する「**議決機関**」であり「**意思決定機関**」です。

一方、町長は、町議会の決定に基づいて仕事を具体的に実行していく、「**執行機関**」となります。

町会議と町長は、対等にそれぞれ独立した立場にたって、お互いに考えを出しながら、けん制と均衡を図り、
 町の発展と町民の福祉向上に努めています。



第19回琴南老人ふれあいスポーツ大会

～笑顔のスクラム～

取材の足跡

町民のみなさん、取材にご協力
 ありがとうございます。



応援にも力が入る



がんばってー！



開会式



ふうせん運びゲーム
 ーいきを合わせてゴールを目指すー



「線路は続くよどこまでも」
 に合わせて元気に体操



カゴを目指してーエイッ!!ー

平成30年10月4日

議会から
こんにちは
No.21

まんのう町琴南地区
母子愛育会イベント

やさしさに包まれて



8月19日、琴南農改センターにて、母子愛育会夏のイベント「つくってあそぼ」が盛大に開催されました。

昔なつかしい、手作りおもちゃ、またリサイクル工作では輪ゴムを使用した「パッチンカエル」のおもちゃ、子ども

願いは親子の笑顔
子育て家庭のしあわせ



もうすぐ
完成だ〜!

もたちは楽しそうに一生懸命に作っていました。子どもたちはお母さんと協力して、講師の説明通りにハサミで切ったり、テープで貼ったりしながら完成させました。上手に出来た子は満面の笑顔で、失敗した子も最後まで諦めずに頑張っていました。



今号の表紙
躍動感ある獅子舞い
八幡神社

今年も五穀豊穡の願いと感謝を込めた、威勢のいい掛け声とちょうさや獅子舞いでにぎやかな季節が巡ってきました。ソイヤ・ソイヤ。わっしょい・わっしょい……。



子どもに伝える八幡の祭り

あしがき

編集委員 松下 一美

今年も猛暑の夏でした。7月の西日本豪雨、台風21号では関西空港が機能不全に陥り、9月6日の北海道胆振東部地震では全道が停電となる被害が発生しました。被害に遭われた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。本町でも南海地震等が想定される中、議会としても防災、減災対策に一層取り組んで参ります。

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 白川 正樹 |
| 副委員長 | 鈴木 崇容 |
| 委員 | 松下 一美 |
| 委員 | 川西米希子 |
| 委員 | 京兼 愛子 |
| 委員 | 常包 恵 |



リサイクル可能な植物油インキを使用しています。

●この議会だよりは、四国新聞販売株式会社に委託し、町内の全世帯に配布しています。配布についてのお問い合わせは、まんのう町議会事務局 TEL. (73) 0109まで